



世帯数 6,199戸
人口 13,776人
(令和5.11.1現在)

寿小学校

創立150周年記念式典が 10月21日に挙行されました

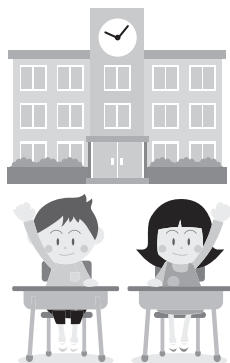


創立150周年を 迎えて



創立150周年
記念事業委員長
百瀬 泰雄

寿小学校の150周年記念を迎えることは、素晴らしい歴史の節目です。寿小学校は明治5年の学制頒布に基づき、同6年に学校が開設されました。市町村の合併や統合など、永年の時代背景の中で、人々の歩みとともに、幾多の変革を繰り返して、現在へと引き継がれてきました。この記念行事を行うことは、今一度、深く当校の歴史や教育について、多くの方々に知っていただき、次へとつなぐ大切な意味を持つものです。記



創立150周年を迎えて



学校長
市川 元彦

明治6年、8つの学校を基に寿小学校が創立して150年。これまでの長きにわたる歴史において、多くの地域の皆様にご指導とご支援をいただきましたことに、まず感謝申し上げます。

現在、本校は、「明るい子ども 強い子ども 考える子ども」を学校教育目標に据え、『さあ、やってみよう』を「寿小のあいことば」にして、学校づくりを進めています。子どもたちはこの合い言葉どおり、失敗を恐れずに挑戦しようとする姿が、あちこちで見られます。素直で人なつっこく、一生懸命さのある子どもたちです。私たち教職員は、この子どもたちの未来が豊かに開けるよう、精一杯、教育活動を進めて参る所存です。今後とも、地域の皆様方には、ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

創立150周年を迎えて



P T A 会長
宮澤 拓也

寿小学校が創立150周年を迎え、このような大事な節目に際し、150年目を祝う一端を担えたこと、とても嬉しく思います。PTAを代表して心よりお慶び申し上げます。

150周年にあたり、平成26年度からの歴代PTA会長や令和4年度・5年度のPTA役員が事業委員として、子供たちの声を聞きながら、風船飛ばし、校旗・石碑制作、記念式典、記念誌制作など、様々な事業を計画し、進めることができました。ここ数年、コロナ禍によって、色々な制限があり、子供たちの学校生活も大きく変わりました。その中でも子供たちが前向きに物事をとらえ、逆境を糧に学校を盛り上げてくれています。先生方、保護者の皆様、地域の方々に支えられていることに感謝申し上げますとともに、今後益々の発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

笑顔あふれる150周年



児童会長
榎原 明奈

今年、寿小学校創立150周年という大切な節目の年です。6月3日のスポーツ参観の日、一人一人が自分の夢や願いを書いたメッセージを結び付けた風船をいっせいに空に飛ばしました。青く晴れ渡った空に、色とりどりの風船が飛び、ジャンプして喜びあいました。児童会では、150周年を記念した寿小学校のキャラクターづくりをしました。決定した「寿チャレンジャー」は、「何にでもチャレンジャーする心」を持ち、寿小学校の合言葉「さあ、やってみよう」の気持ちにみんなを近づけてくれます。10月21日の150周年記念式典では、みんなの思いをこめたメッセージを、大きなタイムカプセルにとじこめました。150周年の行事の準備や実現に関わってくれた全てのみなさんに、大きな感謝の心を持ち、卒業するまでの残りの小学校生活を精一杯、楽しもうと思います。

わがまち 白姫公民館

白姫町会は、数年前まで子ども数が少なく、世帯数も減少していましたが、空き地の造成が進み、多数の宅地ができたことで、新規世帯数が増加しました。今年度は、約140世帯にまで増え、これからの地域活動に期待が持てる地域でもあります。

この白姫町会の地域活動、社会活動の場として、「白姫公民館」があります。

「公民館」とは、教育活動を行う公共の場、市区町村に住む人々の教養と文化を高めるために作られた社会教育法に基づく施設です。また、「公民館」の数ですが、長野県が全国で二位となっています。

では、なぜ長野県には公民館がおおいのでしょうか？調べてみると、長野県は古くから教育熱心かつ自治精神の強い県として知られ、戦後に国や県が公民館の設置を奨励した際に、住民側も積極的に応じた為という理由でした。

白姫公民館もまた、社会活動の場として、活躍しています。毎週水曜日には、「百歳体操」が行われています。寿地区福祉ひろばで紹介されたことがき

かけとなり、地域活動のひとつとなっています。

今年度は、「高齢者クラブ」が白姫公民館の敷地内に花壇を作りました。幅十メートルもある立派なものです。

これからの地域活動の拠点として、大切に守っていききたい施設です。

【館報編集委員 下田淳子】



落語で笑って 元氣を出せの！

9月29日(金)に、寿公民館において、落語家の和泉家志ん治氏による落語の寄席が行われました。当日は、大勢の観客が集まり、皆さん熱心に耳を傾けていました。

前半は、「ことぶきサポート」の活動についてお話があり、その活動を素晴らしいと賞賛しておられました。

落語のお話も、最後はなるほど、と思わずうなずくものでした。

「笑い」は、病を遠ざける「百薬の長」であり、世のため人のためになるものと語り、終わりははだんだん良くなる、という願いを込めて五本締めによつて盛大にお開きとなりました。

【館報編集委員 下田淳子】

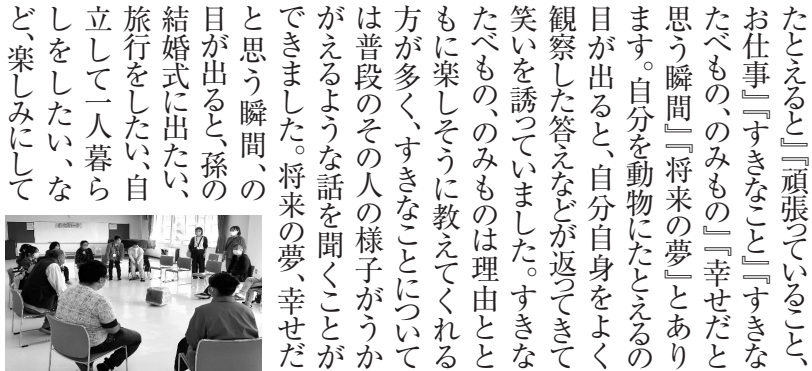


サイコロトーク

10月11日に寿公民館で共学講座「さいころトーク」が47名が参加し開かれました。参加者は3会場に分かれ、椅子に腰かけ、中央を広く空け、丸くなりました。

最初に一人ひとりの自己紹介があり、早速、手作りの大きなさいころを振り、出た目に書いてある事柄について話しをしました。

6つの目には、『自分を動物にたとえると』『頑張っていること』『お仕事』『好きなこと』『好きな食べ物』のみもの『幸せだと思ふ瞬間』『将来の夢』とあります。自分を動物にたとえるの目が出ると、自分自身をよく観察した答えなどが返ってきて笑いを誘っていました。好きな食べ物も、のみものは理由とともにも楽しそうに教えてくれる方が多く、好きなことについては普段のその人の様子がうかがえるような話を聞くことができました。将来の夢、幸せだと思ふ瞬間、の目が出ると、孫の結婚式に出たい、旅行をしたい、自立して一人暮らしをしたい、など、楽しみにして



いる様子や、聞いている方がワクワクするようなお話がありました。じつくりと考えてお話しされる姿、嬉しそうに話される方、それをにこやかに聞いている皆さん。和やかな雰囲気の中あつという間に時間が過ぎました。

「さいころトーク」は、その人を知るきっかけにもなり、また、職場の余興であったり、学校や地区行事のお楽しみ会であったりと色々なところで楽しめるのではないかと感じました。

【館報編集委員 北條美奈子】



【市民スポーツ大会結果】

- 軟式野球…優勝
- 卓球…準優勝
- ソフトバレー(39歳以下)…優勝
- ソフトバレー(40歳以上)…優勝
- マレットゴルフ男子…21位
- 女子…13位
- 総合…4位

【市長杯争奪球技大会結果】

- 軟式野球…1回戦敗退
- ママさんバレーボール…準優勝
- 卓球…優勝



- マレットゴルフ…18位